

# 研究と倫理

【概要】 科学を抜きにして人類の歴史は語れない。しかし、ますます複雑化する社会においてもはや科学は「個々の純粋な知的営為」のレベルに留まることを許されない。「知的好奇心のためなら何をやっても良い」という時代はもはや過去のものである。さまざまな領域、局面において、一定のルール・制約がかされている。「なぜルールが必要なのか?」、「研究はどこまで許されるのか?」この授業では、法と倫理という側面からこの問題をとりあげる。

回数Lecture	担当者Instructor	学修内容Contents of the learning
第1回	西本 成文	はじめに：研究者は何をしている人たちなのか？
第2回	西本 成文	なぜ社会「科学」なのか
第3回	西本 成文	「わたし」と「あなた」：主観と客観をめぐる問い
第4回	西本 成文	なぜルールに従わなければならないのか？ 1：法・道徳・倫理はひとくくりにして良いか
第5回	西本 成文	なぜルールに従わなければならないのか？ 2：自由をめぐる問い
第6回	西本 成文	なぜルールに従わなければならないのか？ 3：正義をめぐる問い
第7回	西本 成文	義務と責任とは何か？：現在・過去・未来
第8回	西本 成文	存在（…である）からそのまま当為（…すべし）を導けるか？
第9回	西本 成文	その論証は正しいのか？：陥りやすい誤謬・詭弁
第10回	西本 成文	各論1：情報をめぐる諸問題
第11回	西本 成文	各論2：イデオロギーの対立
第12回	西本 成文	各論3：不正と告発：利益相反とはなにか
第13回	西本 成文	各論4：多数のためなら少数を犠牲にしてもよいのか？
第14回	西本 成文	各論5：科学は中立か？
第15回	西本 成文	まとめ2. 研究倫理をめぐる世界的動向

※ 本サイトはトライアルのために第一次案として公開するものです。  
無断転載等、著作権を侵害する行為はお控えください。